

運用報告書 (全体版)

グローバル・アロケーション・ファンド 毎月決算・為替ヘッジなしコース (目標払出し型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2013年2月8日から2028年1月27日まで
運用方針	ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンド (以下「参照ファンド」) の運用成果を反映する仕組みの債券に投資し、世界各国の様々な資産への分散投資で得られる収益の獲得と、毎月の分配実施 (実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。) による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的として運用を行います。
主要投資対象	内外の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	原則として、グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス (為替ヘッジなし) 運動債A (以下「指数運動債」) を高位に組み入れます。指数運動債は、参照ファンドの運用成果に基づき算出される指数 (以下「参照指数」) の値動きを反映する仕組みを有し、参照ファンド等を担保資産として特別目的会社により発行されるものです。指数運動債の利金は、参照指数の投資収益に基づくものではなく、原則として1年毎に到来する特定日の指数運動債の価格に所定の率を乗じて得た額として定期的に更新されます。
組入制限	株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき収益の分配 (実質的に投資元本の払い戻しとなる分配を含みます。以下同じ。) を行います。 ①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 ②分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前に支払われた指数運動債の利益に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。当該利金は、参照指数の投資収益に基づくものではなく、原則として1年毎に到来する特定日の指数運動債の価格に所定の率を乗じて得た額に基づいて計算されます。結果として、分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

愛称：世界街道

第109期	<決算日	2022年2月28日>
第110期	<決算日	2022年3月28日>
第111期	<決算日	2022年4月27日>
第112期	<決算日	2022年5月27日>
第113期	<決算日	2022年6月27日>
第114期	<決算日	2022年7月27日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・アロケーション・ファンド 毎月決算・為替ヘッジなしコース (目標払出し型)」は、2022年7月27日に第114期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			参照指数		債券組入率 比	純資産額
		(分配落)	税込み 分配金	期騰落 中率	期騰落 中率			
第15作成期	85期(2020年2月27日)	円 4,949	円 60	% △0.8	172.01	% △0.7	% 98.9	百万円 26,922
	86期(2020年3月27日)	4,204	60	△13.8	148.10	△13.9	98.8	22,449
	87期(2020年4月27日)	4,351	60	4.9	155.65	5.1	98.3	23,087
	88期(2020年5月27日)	4,437	60	3.4	161.18	3.6	98.7	23,401
	89期(2020年6月29日)	4,519	60	3.2	166.63	3.4	99.2	23,315
	90期(2020年7月27日)	4,736	60	6.1	177.20	6.3	98.8	23,855
第16作成期	91期(2020年8月27日)	4,778	60	2.2	181.31	2.3	98.5	23,629
	92期(2020年9月28日)	4,527	60	△4.0	174.12	△4.0	98.6	21,846
	93期(2020年10月27日)	4,633	60	3.7	180.72	3.8	99.5	21,893
	94期(2020年11月27日)	4,781	60	4.5	189.26	4.7	98.9	22,207
	95期(2020年12月28日)	4,825	60	2.2	193.73	2.4	99.1	22,053
	96期(2021年1月27日)	4,905	60	2.9	199.59	3.0	99.1	22,108
第17作成期	97期(2021年3月1日)	5,001	58	3.1	206.20	3.3	98.2	22,165
	98期(2021年3月29日)	4,943	58	0.0	206.36	0.1	98.1	21,648
	99期(2021年4月27日)	5,057	58	3.5	213.92	3.7	98.2	21,856
	100期(2021年5月27日)	5,096	58	1.9	218.37	2.1	98.4	21,949
	101期(2021年6月28日)	5,133	58	1.9	222.75	2.0	97.8	22,004
	102期(2021年7月27日)	5,053	58	△0.4	222.04	△0.3	98.4	21,490
第18作成期	103期(2021年8月27日)	5,009	58	0.3	222.89	0.4	99.3	21,084
	104期(2021年9月27日)	4,908	58	△0.9	221.24	△0.7	98.9	20,524
	105期(2021年10月27日)	5,033	58	3.7	229.97	3.9	98.9	20,793
	106期(2021年11月29日)	5,019	58	0.9	232.28	1.0	98.3	20,605
	107期(2021年12月27日)	4,899	58	△1.2	229.65	△1.1	98.2	20,097
	108期(2022年1月27日)	4,547	58	△6.0	215.73	△6.1	98.4	18,561
第19作成期	109期(2022年2月28日)	4,439	59	△1.1	213.42	△1.1	97.1	18,050
	110期(2022年3月28日)	4,694	59	7.1	229.25	7.4	98.6	18,986
	111期(2022年4月27日)	4,643	59	0.2	229.84	0.3	98.2	18,807
	112期(2022年5月27日)	4,455	59	△2.8	223.71	△2.7	97.9	18,059
	113期(2022年6月27日)	4,459	59	1.4	227.17	1.5	97.4	18,136
	114期(2022年7月27日)	4,569	59	3.8	236.42	4.1	98.1	18,651

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 参照指数はグローバル・アロケーション・ファンド・インデックス(為替ヘッジなし)です(以下同じ)。

(注3) グローバル・アロケーション・ファンド・インデックスは世界各国の株式や債券などに投資して、トータルリターンを最大化を目指すルクセンブルグ籍外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンド」クラスⅠ米ドル建投資証券のパフォーマンスを反映する円ベースの指数です。同指数には為替取引(米ドル売り/円買い)を行わない指数と行う指数があります。UBS銀行ロンドン支店が指数の算出・公表を行います。

UBS銀行ロンドン支店は参照ファンドおよびその投資対象資産への投資の妥当性などについて何ら判断を行わず、参照指数のパフォーマンスにも責任を負うものではありません(以下同じ)。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

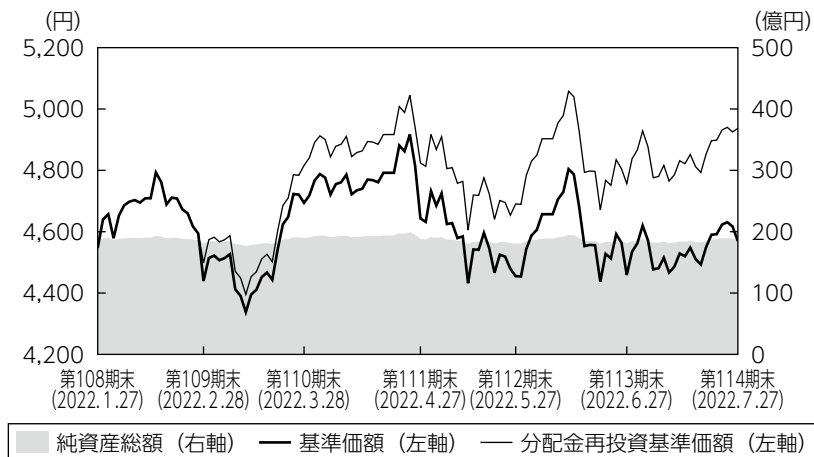
■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 円	価 額	参 照	指 数	債 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率	
第109期	(期 首) 2022年1月27日	4,547	—	215.73	—	% 98.4
	1 月 末	4,657	2.4	221.05	2.5	98.5
	(期 末) 2022年2月28日	4,498	△1.1	213.42	△1.1	97.1
第110期	(期 首) 2022年2月28日	4,439	—	213.42	—	97.1
	(期 末) 2022年3月28日	4,753	7.1	229.25	7.4	98.6
第111期	(期 首) 2022年3月28日	4,694	—	229.25	—	98.6
	3 月 末	4,788	2.0	233.91	2.0	98.5
	(期 末) 2022年4月27日	4,702	0.2	229.84	0.3	98.2
第112期	(期 首) 2022年4月27日	4,643	—	229.84	—	98.2
	4 月 末	4,632	△0.2	229.30	△0.2	98.2
	(期 末) 2022年5月27日	4,514	△2.8	223.71	△2.7	97.9
第113期	(期 首) 2022年5月27日	4,455	—	223.71	—	97.9
	5 月 末	4,543	2.0	228.21	2.0	97.9
	(期 末) 2022年6月27日	4,518	1.4	227.17	1.5	97.4
第114期	(期 首) 2022年6月27日	4,459	—	227.17	—	97.4
	6 月 末	4,620	3.6	235.61	3.7	97.6
	(期 末) 2022年7月27日	4,628	3.8	236.42	4.1	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■第109期～第114期の運用経過（2022年1月28日から2022年7月27日まで）

基準価額等の推移



第109期首： 4,547円
第114期末： 4,569円
（既払分配金354円）
騰落率： 8.6%
（分配金再投資ベース）

- 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
 - (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
 - (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
 - (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンド（以下「参照ファンド」）の運用成果を反映する仕組みの債券に投資し、世界各国の様々な資産への分散投資で得られる収益の獲得と、毎月の分配実施による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的として運用を行いました。当作成期間の基準価額は参照ファンドの下落を受けたものの、大幅な円安を受けて上昇しました。

投資環境

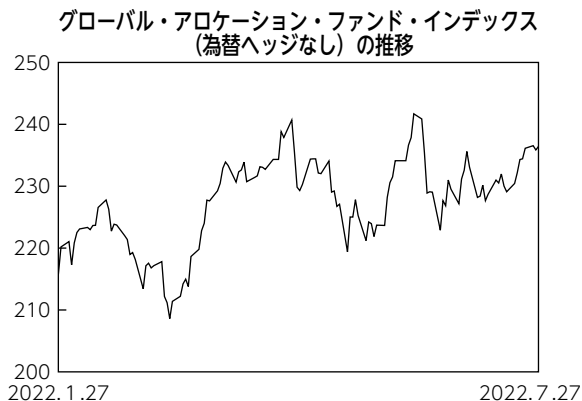
世界主要国の株式市場は、まちまちな展開となりました。好調な企業業績を背景に堅調に始まったものの、インフレ率の上昇加速に伴う米長期金利上昇や、ロシアがウクライナ侵攻を開始し、3月上旬にかけて下落傾向となりました。その後、ウクライナ戦争の停戦協議の進展期待から反発する場面があったものの、各国中央銀行による金融引き締めや中国のロックダウンなどから、欧米株式市場は軟調な動きとなりました。一方、国内株式市場は円安進行を好感し、堅調に推移しました。

世界主要国の債券市場は、一般的に下落（金利上昇）傾向となりました。米国金利は、インフレ率の上昇加速によりF R B（米連邦準備理事会）の利上げが想定以上の幅になるとの見方から上昇しました。3月上旬には、対ロシア制裁を巡る懸念などから低下しました。その後、堅調な米雇用統計や米C P Iの上振れを背景にF R Bの大幅利上げ観測から上昇した後、景気減速懸念が浮上し、上昇幅は縮小しました。欧州、国内金利も米国金利と同様な動きとなりました。

為替市場では円は対米ドル、対ユーロで下落しました。日銀が金融緩和政策を維持する中で米経済の回復期待や、米インフレ圧力の高まりを示す指標を受けて、金融政策正常化の観測が強まったことから円安・米ドル高が進展しました。ユーロは、米欧の景況感の格差や、ウクライナ情勢の緊迫化によるエネルギー価格の急騰が欧州景気の重石となる可能性が意識されたことから米ドルに対して軟調に推移し、円に対しては上昇しました。

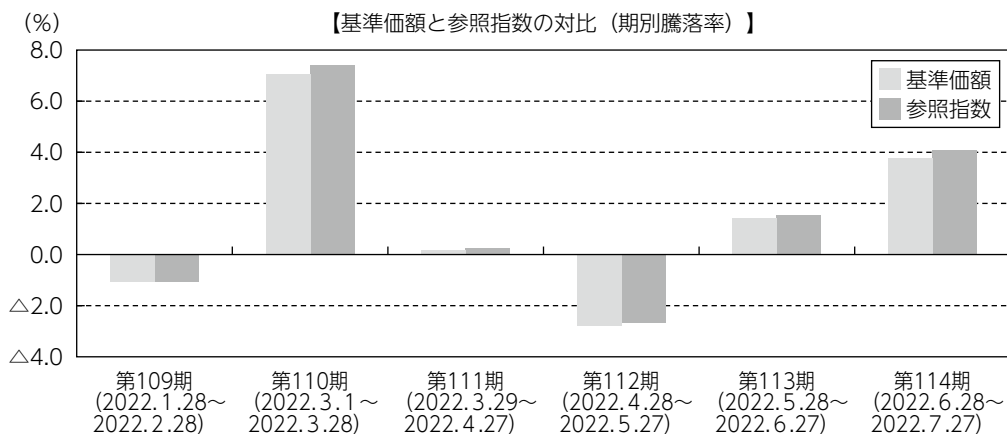
ポートフォリオについて

ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンドの運用成果を反映する仕組み債券である「グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス（為替ヘッジなし）連動債A」に投資を行い、当作成期間を通じて高位に組み入れました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参照指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては所定の率をグローバル・アロケーション・ファンド・インデックス（為替ヘッジなし）連動債Aの価格に乗じて計算される利金に基づく額を払い出すことを目標とし、第109期から第114期までそれぞれ1万口当たり59円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2022年1月28日 ～2022年2月28日	2022年3月1日 ～2022年3月28日	2022年3月29日 ～2022年4月27日	2022年4月28日 ～2022年5月27日	2022年5月28日 ～2022年6月27日	2022年6月28日 ～2022年7月27日
当期分配金（税引前）	59円	59円	59円	59円	59円	59円
対基準価額比率	1.31%	1.24%	1.25%	1.31%	1.31%	1.27%
当期の収益	59円	59円	59円	59円	59円	59円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,492円	2,504円	2,512円	2,520円	2,528円	2,539円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

引き続き「グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス（為替ヘッジなし）連動債A」の組入比率を高位に維持し、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第109期～第114期 (2022年1月28日 ～2022年7月27日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	26円	
(投信会社)	(8)	(0.163)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(18)	(0.381)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.008)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	26	0.569	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

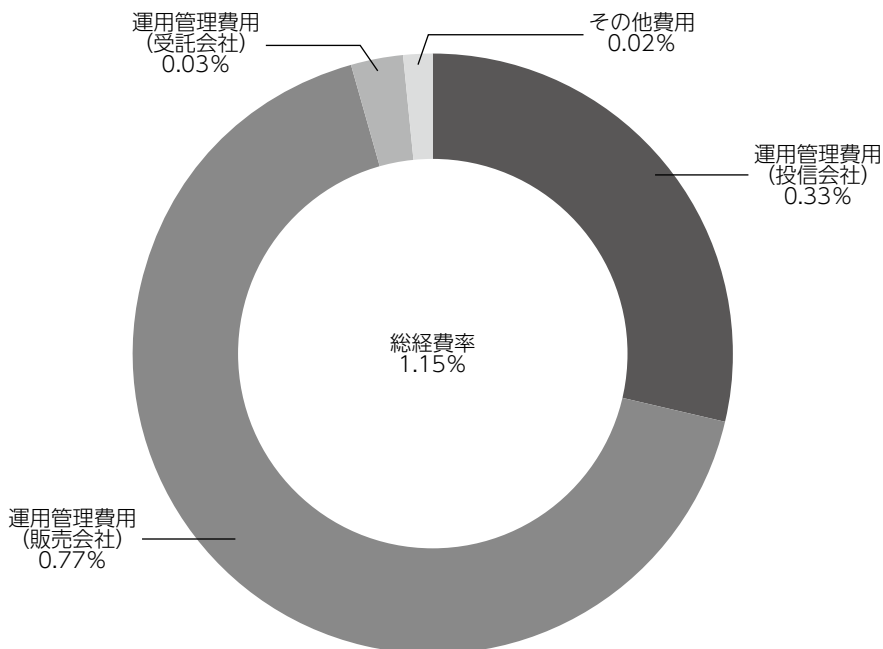
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注5) 上記とは別に、次の費用を間接的に負担しております。

指数手数料	年率0.08% (注) 参照指数は年率0.08%が指数手数料（指数算出費用）として日々控除された形で算出されます。
参照ファンド	参照ファンドの純資産総額に対して年率0.75% (注) 参照ファンドの投資運用会社に対する運用等の報酬です。

■売買及び取引の状況 (2022年1月28日から2022年7月27日まで)

公社債

		第 109 期 ~ 第 114 期	
		買 付 額	売 付 額
国	内 社 債 券	千円 408,822	千円 271,128 (-)

(注1) 金額は受渡金です (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2022年1月28日から2022年7月27日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	第 109 期 ~ 第 114 期					
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.084711	百万円 0.084711	% 100.0	百万円 0.084711	百万円 0.084711	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内 (邦貨建) 公社債

作 成 期	第 19 作 成 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
5 年 以 上					2 年 以 上	2 年 未 満	
普 通 社 債 券	千円 50,540,000	千円 18,289,415	% 98.1	% 98.1	% 98.1	% -	% -
合 計	50,540,000	18,289,415	98.1	98.1	98.1	-	-

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B 格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内 (邦貨建) 公社債

作 成 期	第 19 作 成 期 末			
銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(普通社債券)	%	千円	千円	
グローバル・アロケーション・ファンド・イン デックス (為替ヘッジなし) 連動債A	-	50,540,000	18,289,415	2028/01/18
合 計	-	50,540,000	18,289,415	-

■投資信託財産の構成

2022年7月27日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	18,289,415	96.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	670,353	3.5
投 資 信 託 財 産 総 額	18,959,768	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月28日)、(2022年3月28日)、(2022年4月27日)、(2022年5月27日)、(2022年6月27日)、(2022年7月27日)現在

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
(A) 資 産	18,323,129,486円	19,251,288,892円	19,135,833,255円	18,325,472,620円	18,402,207,265円	18,959,768,621円
コール・ローン等	784,946,080	519,470,338	644,844,362	624,583,470	738,731,993	665,610,062
公社債(評価額)	17,520,291,900	18,712,269,000	18,470,011,500	17,678,304,000	17,660,322,000	18,289,415,200
その他未収収益	17,891,506	19,549,554	20,977,393	22,585,150	3,153,272	4,743,359
(B) 負 債	272,333,096	264,630,908	328,054,896	266,112,524	265,505,557	307,826,251
未払収益分配金	239,923,048	238,646,772	239,021,499	239,156,145	239,981,380	240,864,826
未払解約金	13,554,094	9,991,720	70,961,624	9,527,442	7,498,680	49,694,312
未払信託報酬	18,791,018	15,937,343	18,009,537	17,368,920	17,963,425	17,207,650
その他未払費用	64,936	55,073	62,236	60,017	62,072	59,463
(C) 純資産総額(A-B)	18,050,796,390	18,986,657,984	18,807,778,359	18,059,360,096	18,136,701,708	18,651,942,370
元 本	40,664,923,497	40,448,605,456	40,512,118,551	40,534,939,960	40,674,810,242	40,824,546,803
次期繰越損益金	△22,614,127,107	△21,461,947,472	△21,704,340,192	△22,475,579,864	△22,538,108,534	△22,172,604,433
(D) 受 益 権 総 口 数	40,664,923,497□	40,448,605,456□	40,512,118,551□	40,534,939,960□	40,674,810,242□	40,824,546,803□
1万口当たり基準価額(C/D)	4,439円	4,694円	4,643円	4,455円	4,459円	4,569円

(注) 第108期末における元本額は40,822,639,889円、当作成期間(第109期~第114期)中における追加設定元本額は1,936,648,046円、同解約元本額は1,934,741,132円です。

■損益の状況

〔自 2022年1月28日 至 2022年2月28日〕〔自 2022年3月1日 至 2022年3月28日〕〔自 2022年3月29日 至 2022年4月27日〕〔自 2022年4月28日 至 2022年5月27日〕〔自 2022年5月28日 至 2022年6月27日〕〔自 2022年6月28日 至 2022年7月27日〕

項 目	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
(A) 配 当 等 収 益	286,845,355円	289,190,781円	289,147,932円	289,579,813円	289,930,015円	289,325,076円
受 取 利 息	285,138,002	287,541,387	287,728,489	287,982,146	288,404,694	287,750,289
そ の 他 収 益 金	1,713,471	1,651,147	1,422,866	1,603,469	1,543,883	1,583,973
支 払 利 息	△6,118	△1,753	△3,423	△5,802	△18,562	△9,186
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△471,046,882	996,527,524	△244,297,268	△789,751,831	△24,850,193	413,637,496
売 買 益	1,713,766	998,012,415	△740	2,238,381	42,303	415,601,354
売 買 損	△472,760,648	△1,484,891	△244,296,528	△791,990,212	△24,892,496	△1,963,858
(C) 信 託 報 酬 等	△19,087,058	△16,223,520	△18,302,212	△17,661,047	△18,255,684	△17,497,300
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△203,288,585	1,269,494,785	26,548,452	△517,833,065	246,824,138	685,465,272
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△18,905,619,480	△19,168,206,507	△18,031,787,684	△18,147,231,141	△18,763,700,301	△18,643,122,322
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,265,295,994	△3,324,588,978	△3,460,079,461	△3,571,359,513	△3,781,250,991	△3,974,082,557
(配 当 等 相 当 額)	(5,624,188,405)	(5,612,680,229)	(5,656,128,005)	(5,686,828,851)	(5,757,231,143)	(5,824,849,053)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△8,889,484,399)	(△8,937,269,207)	(△9,116,207,466)	(△9,258,188,364)	(△9,538,482,134)	(△9,798,931,610)
(G) 合 計 (D+E+F)	△22,374,204,059	△21,223,300,700	△21,465,318,693	△22,236,423,719	△22,298,127,154	△21,931,739,607
(H) 収 益 分 配 金	△239,923,048	△238,646,772	△239,021,499	△239,156,145	△239,981,380	△240,864,826
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△22,614,127,107	△21,461,947,472	△21,704,340,192	△22,475,579,864	△22,538,108,534	△22,172,604,433
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,265,295,994	△3,324,588,978	△3,460,079,461	△3,571,359,513	△3,781,250,991	△3,974,082,557
(配 当 等 相 当 額)	(5,624,188,405)	(5,612,680,229)	(5,656,128,005)	(5,686,828,851)	(5,757,231,143)	(5,824,849,053)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△8,889,484,399)	(△8,937,269,207)	(△9,116,207,466)	(△9,258,188,364)	(△9,538,482,134)	(△9,798,931,610)
分 配 準 備 積 立 金	4,511,861,688	4,516,638,035	4,522,172,588	4,530,884,656	4,528,898,346	4,542,695,000
繰 越 損 益 金	△23,860,692,801	△22,653,996,529	△22,766,433,319	△23,435,105,007	△23,285,755,889	△22,741,216,876

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
(a) 経費控除後の配当等収益	267,758,297円	285,542,111円	270,845,720円	271,918,766円	271,674,331円	282,123,187円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	5,624,188,405	5,612,680,229	5,656,128,005	5,686,828,851	5,757,231,143	5,824,849,053
(d) 分 配 準 備 積 立 金	4,484,026,439	4,469,742,696	4,490,348,367	4,498,122,035	4,497,205,395	4,501,436,639
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	10,375,973,141	10,367,965,036	10,417,322,092	10,456,869,652	10,526,110,869	10,608,408,879
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,551.58	2,563.24	2,571.41	2,579.72	2,587.87	2,598.54
(g) 分 配 金	239,923,048	238,646,772	239,021,499	239,156,145	239,981,380	240,864,826
(h) 1万口当たり分配金	59	59	59	59	59	59

■分配金のお知らせ

決算期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
1 万口当たり分配金	59円	59円	59円	59円	59円	59円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■信託期間を延長し、償還日を2028年1月27日とする変更を行いました。

(2022年4月28日)

その他のお知らせ

■信託期間を2028年1月27日に延長したことに伴い、主要投資対象である指数連動債の満期償還日の延長および一部仕様変更を行いました。仕様変更については、ファンドの信託期間の延長後、指数連動債にかかるコスト上昇を避けるため、連動対象指数の算出者[※]の事前申出によって債券の残存期間が短縮化できる条件が追加するもので、当ファンドの実質的な運用内容に変更はありません。

※UBS銀行ロンドン支店を指します。

(2022年4月28日)